

登録コード	EKF09900	開講年度	2026					
授業科目	社会科授業内容研究				担当教員	廣内 大助 他		
英文授業名	Teaching Content Research of Social Studies				副担当	関 良徳・藤崎 聖也・松島 恒熙・野口 舞子・内山 琴絵		
単位数	1	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期		履修学年	
講義室			授業形態	演習	備考			
信大コンピテンシー 該当								
(1)【授業の達成目標】		【授業で得られる「学位授与の方針」】				【授業の達成目標】		
		2 6 E Aカリ, 2 5 E Aカリ, 2 4 E Aカリ						
		教育の専門職としての学識・技能				・諸学問の専門性に裏付けながら, 初等・中等教育段階における社会科の授業内容に関わる研究課題を自ら設定できる。		
(2)授業の概要		演習形式で, 社会科教育学の専門性に裏付けられた社会科教育の授業内容に関わる各自の研究課題についての発表を中心におこない, 質疑応答・討議する。 初等・中等教育の目的に絡めながら主として授業内容に関する研究課題を, 先行研究に位置付けつつ, 教科の背景としての学問の専門性に基づいて設定する。						
(3)授業計画		第 1 回: ガイダンス: この授業の目的や進め方について概説する。 第 2 回: 外国史学の授業内容に関する研究課題について分析・検討を行う。 第 3 回: 人文地理学の授業内容に関する研究課題について分析・検討を行う。 第 4 回: 自然地理学の授業内容に関する研究課題について分析・検討を行う。 第 5 回: 法律学の授業内容に関する研究課題について分析・検討を行う。 第 6 回: 経済学の授業内容に関する研究課題について分析・検討を行う。 第 7 回: 倫理学の授業内容に関する研究課題について分析・検討を行う。 教員 6 名によるオムニバス形式の授業である。						
(4)成績評価の方法		・各回の発表内容 (40%), 質疑応答・議論の内容 (20%), およびレポート (40%) によって評価する。 ・評価割合は, 若干調整することがある。 ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可						
(5)履修上の注意		内容によって, 授業日程や開催場所を変更することがある。 履修にあたっては, 自らの研究課題を考慮し, 指導教員と相談の上で決定すること。						
(6)質問, 相談への対応および連絡先		オフィスアワー: 担当教員への質問・連絡方法は, 各自担当教員と相談して決定。 別表「担当教員のオフィスアワー」も適宜参照。						
(7)成績評価の基準		「卓越している」 : (1)研究課題, (2)理論的枠組み, (3)授業内容と専門性, (4)研究の意義, のすべてについて先行研究の成果と限界に基づいた発表, 討議, およびレポート構成が実現できた上で, (1)~(4)のうち3つ以上について発展的な発表, 討議, およびレポートが実現できている。 「かなり上である」 : 上記(1)~(4)すべてについて先行研究の成果と限界に基づいた発表, 討議, およびレポート構成が実現できた上で, (1)~(4)のうち2つについて発展的な発表, 討議, およびレポートが実現できている。 「やや上にある」 : 上記(1)~(4)すべてについて先行研究の成果と限界に基づいた発表, 討議, およびレポート構成が実現できた上で, (1)~(4)のうちいずれか1つについて発展的な発表, 討議, およびレポートが実現できている。 「水準にある」 : 上記(1)~(4)すべてについて先行研究の成果と限界に基づいた発表, 討議, およびレポート構成が実現できている。						
(8)事前事後学習の内容について		【事前学習】質疑応答・討論のための資料を準備すること。また, 研究課題に関連した文献等を, 図書館等で検索・収集し, 研究課題の設定の仕方や研究方法論に着目して要約したり, 吟味したりすること。 【事後学習】質疑応答・討議を通じて生まれた課題について, 事後に各自で調べて再検討すること。 ・この授業は22.5時間の学修を必要とする内容であり, 15時間以上の時間外学習が必要。						
【教科書】		指定しない						
【参考書】		指定しない ・随時リストを配付する。						